

平成27年度(2015年度)事業報告書

日中関係はここ数年困難な局面にあったが、昨年4月、11月の2度の首脳会談を経て、改善へ向けて一定の前進があった。

そうした中、日中経済協会では、11月初めに通算第41回目となる訪中代表団を、日本経済団体連合会、日本商工会議所との日中経済協会合同訪中代表団として、総勢232名という過去最大の陣容で北京に派遣した。李克強総理との全員会見が実現したほか、一連の会議を通じて中国経済についての現状・見通しと構造改革に対する決意を伺った。また11月末には、日中両国関係省庁との共催にて、総勢75名の出席を得て、第9回日中省エネルギー・環境総合フォーラムを東京で開催し、両国の省エネ・環境協力強化と世界貢献への共通認識を確認するとともに分野別のマッチング交流を行った。

また2013年度から着手している中国新型都市化分野では、その核となるスマートシティ推進協力について、従来からの関連情報の収集、人的ネットワークの形成に加えて、更にビジネス協力プロジェクトの発掘・醸成に努めた。

1. 調査情報サービス事業

(1) 委員会・部会

21世紀日中関係展望委員会(委員長 福川伸次・元通商産業事務次官)

計5回の委員会での審議を重ねた結果、11月に第12回提言書「日中関係、より高く、より広く イノベーション展開とグローバル化の推進を軸に」を取り纏めた。

本提言については、その直後に派遣された日中経済協会合同訪中代表団において、宗岡 団長から李克強國務院総理会見の際に説明のうえ手交し、また、その翌週に東京で開催された「第9回日中企業家及び元政府高官対話(日中CEO等サミット)」でも広く配布された。 【別添資料3】

経済交流委員会(委員長 北原基彦・公益社団法人日本経済研究センター主任研究員)
と業務諮問部会(部会長 渡辺利夫・拓殖大学学長)

1975年から毎年の日中間の経済交流と主要産業の動向を研究し報告書として取り纏めてきた経済交流委員会については、2014年度の研究成果を2015年6月に「日中経済産業白書2014/2015 - 新常态への移行が求める中国ビジネスの挑戦 -」として出版した。

一方委員会活動については、今年度の事業計画に基づき、事業活動相互の有機的な連携を図り、委員会・部会活動の統合を行う方向で見直しを実施した。

その結果、今年度後半は、日中経済交流等事業費補助金事業の一環として、主要企業実務者が参加する「日中経済交流検討会議」を開催し、主要産業・経済動向研究者等のレクチャーを受けつつ、中国の経済動向、ビジネス事情の変化、事業環境の改善

要 等につき、意見 交換及び情報交流を行った。

2015 年度 西地区会員懇談会

1 月19 日、大阪市内で懇談会を開催した。西地区の賛助会員をはじめとする産官学各界から約90 名が出席した。井上礼之副会長 西本部長の挨拶及び岡 本巖理事長による当協会の最近の主要活動 報告に続き、津上俊哉氏（津上工作室代表）が「2016 年の中国を占 ぐ～習近平の経済・政治・外交を読み解く」をテーマに講演した。

(2) 広報および情報発信

『日中経協ジャーナル』発行

グローバルな視点に立つ日中経済関係のオピニオンリーダー・ビジネス 情報誌として月刊『日中経協ジャーナル』を12 回発行し、賛助会員、関係官庁、研究機関 等に配布した。

なお、平成25 年度より巻頭言として、正副会長のメッセージの掲載を行っていることに加え、スペシャルレポートでは、2015 年の経済社会動 向や国有企業改革、13 5 計画の見 通し等を詳細に分析・解説し、読者からの好評を得た。 【別添資料4】

『中国経済データハンドブック2015 年版』発行

中国の概況、政治体制、2014 年の経済、2015 年の計画、国内経済、地域経済、対 外経済、日中経済及び法制度、中国関係大事記などについて、最新データを基 に整理し、更に省エネルギー・環境保護、高齢化対応のページを充実させて、9 月に発行した。

ホームページを含む電子媒体による情報発信の改善・充実

賛助会員企業への情報コンテンツ「JCEA ニュース」をはじめ、各種イベント案内や中国関係情報を随時-Mail にて発信している。また当協会ホームページ上での会員向け情報発信を拡大させるとともに、情報提供の迅速化に努めた。

(3) 中国のシンクタンクとの交流

岡 本理事長をはじめとして、中国国務院発展研究センター(DRC)との交流を継続し、2015 年4 月には神戸で開催された第33 回日中経済知識交流会（日本側代表：福井俊彦キャノングローバル戦略研究所理事長、中国側代表：李偉DRC 主任）に出席した。また、DRC 主催の「中国発展高層論壇2016 」(16 年3 月、北京市)は岡 本理事長等が出席し、13 5 計画期の中国のマクロ経済運営や重要な施策、改革深化の動 向について最新情報の把握と意見 交換等を行い、その結果について会員企業へ情報発信した。

(4) 委託事業

外部からの受託

経済産業省からの委託により「平成27年度新興国市場開拓事業（相手国の産業政策・制度構築の支援事業（中国におけるスマートシティ開発から運営に係る制度整備に係る調査）」を実施した。

また、株式会社きんざいが実施する通信講座「アジア進出支援に強くなる講座（中国ビジネス支援編）」テキストの改訂執筆を行った。

外部委託の実施

「中国制度情報調査」を実施し、その成果を当協会ホームページに掲載し広く情報提供を行った。

2. 経済・技術交流事業

(1) 2015年度日中経済協会合同訪中代表団の派遣(11月1日-8日)

2015年度日中経済協会合同訪中代表団(通算第41回)を北京市、四川省成都市等に派遣した。【別添資料5】

(2) 省エネルギー・環境協力

第9回日中省エネルギー・環境総合フォーラムの開催(11月29日)

日中省エネルギー・環境総合フォーラムを両国閣僚級出席のもと、東京で開催した。

【別添資料6】

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会の活動

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会(JC-BASE)の事務局として、第9回日中省エネルギー・環境総合フォーラムに向けたニーズの集約や案件・参加募集、中国の関係機関・企業や地方政府との交流を通じた情報収集・提供やマッチングの促進などを行い、省エネ・環境ビジネスの中国での展開を支援した。

幹事会実務担当者・連絡会メンバー会議(2016年2月26日開催)において、歴次フォーラムの回顧とともに「省エネ・環境分野の対中ビジネスに関するアンケート」結果を紹介し、今後のフォーラムの方向性について議論・意見集約を行うとともに、協議会の運営合理化方針と活動予定について説明し、承認された。

中国大気汚染改善協力ネットワークの活動

「山東・淄博日中大気汚染対策協力モデル区」の合意に基づき以下を実施した。

・淄博市・山東省関係者招聘・ビジネスマッチング(臨淄区書記一行、劉東暉淄博市副市長一行)

・(一財)省エネルギーセンターと中国・国家節能中心主催の対中省エネ人材研修事業の淄博での開催支援

- ・第9 回日中省エネルギー・環境総合フォーラムでのMOU 調印案件形成、事務局による見地協議・調査、マッチング支援のための対中連絡調整（石炭火力発電向け脱硫脱硝除塵一貫システム、電気集塵機、燃料添加剤、VOCs 処理技術等）

その他

イ) 山東省水ビジネス企業訪日団 (5 月12 日~15 日)

協会が山東省と交わしている省エネルギー・環境分野での協力合意に基づき、同省からの要請で受入れを実施。省環境保護庁・住宅都市農村建設庁の両機関が合同で、主要都市の上下水道事業、工業廃水処理、海水淡水化等の事業会社の経営層、技術者を組織し来日した。

水処理関係企業とのビジネス マッチング、関連施設見学を実施。これまで来日機会が少なかった山東省都市建設設計院長、済南、青島、威海、臨沂、済寧等各市の国有水事業会社トップとの交流が大阪、東京両地で実現。

ロ) ECOTECH 上海2015 出展 (6 月10 日~12 日、上海)

上海で開催されている中国最大規模の水処理展AQUATECH において、15 年から併催されている大気・固形廃棄物対策中心のECOTECH に、日本企業の省エネルギー・環境技術の中国市場における認知向上のため参加。

協会ブースにおいて7 社の製品・技術のパネル展示を行ったほか、日中省エネルギー・環境総合フォーラムをはじめ協会が行う日中省エネ・環境協力事業や日本の水環境、環境対策のケーススタディを紹介した。

ハ) 中国節能低炭素博覧会 (11 月18 日~19 日、北京)

中国国家節能中心の要請を受け、同中心が主催する本博覧会に協力・出展。「グリーン生産、グリーン生活」を主題に、2万 平米に欧米、アジア等世界36 の国と地域から300 社を超える出展があった。併催のフォーラムでは張勇・国家発展改革委員会副主任が出席。

協会ブース (54 平米) は協会及びメーカー5 社がパネル展示。出展企業の市場開拓、製品・技術のPR、日中省エネルギー・環境総合フォーラム、日本の技術一覧の紹介とともに、メインフォーラム参加を通じた関連情報の収集を行った。

ニ) ENEX (第40 回地球環境とエネルギーの調和展)、インターアクア (第7回国際水ソリューション展) (1 月27 日~29 日、東京)

対中省エネルギー・環境ビジネス ニーズ発掘のため従来より出展してきたインターアクア (国際水ソリューション展) について、ENEX (地球環境とエネルギーの調和展) との併催となったため、水処理分野に加え、省エネ・環境面でのコンテンツを中心に、中国の市場、ビジネス 機会を紹介。

また「中国の省エネ・水資源と市場2016年版」を作成・配布したほか、「日本企業の省エネルギー・環境関連設備・技術一覧」を配布した。

(3) 新型都市化、スマートシティ

新政権下で2014年に発表され、実行に移されている新型都市化政策の核の一つはスマートシティである。中国都市化センターとの間の「スマートシティ等協力推進に関する覚書」(2015年1月調印)の下、ビジネス協力プロジェクトの発掘・醸成に努めた。その一環で経済産業省の委託調査事業(前述)として基礎調査等を実施した。

(4) シルバービジネス

第 回中国(瀋陽)高齢者・障害者用品展覧会(7月18日-20日)

瀋陽市で開催された掲題展覧会(主催:瀋陽市老齡産業協会等。後援:瀋陽市民政局、瀋陽市対外貿易経済合作局等)への日本企業の出展に協力するとともに、同展覧会を視察した。

(5) 中国の政府・主要機関との交流

新旧会長交代挨拶北京訪問(8月25日-27日)

第6回理事会において、退任する張富士夫会長に代わりそれまで副会長であった宗岡正二氏が新たに会長に就任した。これを踏まえ新旧会長が揃って北京を訪問し、外交部王毅部長、商務部高燕副部長、工業信息化部辛国斌副部長他へ交代の挨拶を行うと共に、中国の状況や日中経済関係等について意見交換を行った。

「中国共産党青年幹部代表団」の受入れ(12月21日-25日)

経済産業省と中国共産党中央対外連絡部(中連部)との定期交流事業の一環として、中連部選派幹部局・繆衛誠局長を団長とする中国共産党青年幹部代表団2名が当協会の受入により来日した。一行は、東京、新潟、和歌山を訪問し、日本の高齢化対策と現状、日本企業の対中投資と今後の動向などについて、経済産業省、地方自治体及び関連企業を訪問し、意見交換・視察を行った。

(6) 中国の地域発展への協力

2015年日中経済協力会議-於遼寧(7月16日)

会議は当協会と日中東北開発協会及び遼寧省、吉林省、黒龍江省、内蒙古自治区との共同開催。中国側は李希・遼寧省共産党委員会書記をはじめ4省区の各代表や経済団体・企業関係者等約530人が参加し、日本側は宗岡正二日中経済協会・日中東北開発協会会長を団長とし、東北経済連合会、新潟県、富山県、北海道の各副知事や新潟市の副市長等の自治体関係者、経済団体・企業関係者等約170人が参加した。

全体会議として16日午前開幕式と日中ハイレベル論壇を行い、午後に4分科会

(循環経済・省エネ環境、シルバー産業・関連サービス業、ハイエンド設備製造業、農業・食品加工)を同時開催した。15日は日中VIP会見、17日は2コースに分けて(鞍山・大連、丹東・莊河)の視察を行った。

各省市との交流

訪問や受入れ等を通じ、主に北京、遼寧、河北、山東、江蘇、浙江、福建、広東、湖北、安徽、四川の11省・市との間で交流を行った。

省長としては、遼寧省鄒志剛副省長(6月)、山東省鄧樹清省長(9月)、市長級としては、山東省淄博市劉東軍副市長(7月)、同省日照市熊波副市長(8月)、江蘇省泰州市陸志鵬副市長(10月)が来日した。

地方政府が協力を期待する分野としては、省エネ・環境や健康関連産業に加え、ロボット、IT関連、物流、都市環境整備(公園、交通安全)など産業や社会インフラのグレードアップに関するものが目立った。【別添資料7】

(7) 政府関連機関・団体等への支援・協力

日中長期貿易協議委員会

イ)「第7次日中長期貿易取決め」締結の為の調整活動

「第7次日中長期貿易取決め」が2015年12月末に満期を迎えたことから、第7次取決め(2016年-2020年)の締結につき商務部アジア司や中国中煤能源集团有限公司等と協議を行い、内容について合意した。

ロ) 省エネ等技術交流促進部会 第9回定期交流の開催(11月29日)

「第9回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」の日中長期貿易分科会として、商務部との定期交流を実施した。

日中友好団体の活動

日中双方の新年賀詞交歓会や中国からの要人来日時の懇談など、他の関係団体(日中友好協会、日本国際貿易促進協会、日中文化交流協会、日中友好議員連盟、日中協会、日中友好会館)と協力し、各種事業を実施した。

3. 対中ビジネス支援事業

賛助会員企業をはじめ我が国企業の中国ビジネス展開をサポートするため、「中国制度情報調査」、「中国法務相談会」を実施し、中国の外資導入政策や諸制度など投資環境の変化を日常的にフォローし、個別の相談案件にも対応した。

関西本部においても、引き続き会員企業を中心として関西所在企業からの現地法人の再編、税制、労務管理等についての相談に対応した。

4．人材育成・人的交流事業

(1) 中国大学生「走近日企・感受日本」訪日事業への協力

本事業は、中国の将来を担う大学生に対し、日本企業ひいては我が国への理解を深めてもらうことを目的として、北京の中国日本商會が2007年春から実施している訪日研修事業である。2012年春までの5年間で第1ラウンド計10団(約280名)の来日が実現し、引き続き第2ラウンドとして2012年秋から2015年春までの3年間で計6団の実施が完了し、現在更に継続中。訪日学生数は第17回までの累計で約330名。毎年70名の大学生の訪日研修に取り組んでいる。

当協会は、その受入協力機関として、平成27年度は、以下の2回の受入を実施。なお、第3ラウンドも既にその実施が決定されている。

第6回 5月26日-6月2日 泊8日

清華大学、中国人民大学、对外經濟貿易大学、北京語言大学、外交学院、北京農學院の6大学から33名。

第7回 11月24日-12月1日 泊8日

北京大學、北京師範大學、北京理工大學、北京外國語大學、中國音樂學院、中央財經大學の6大学から35名。

(2) 中国若手企業家との交流

中国最初のMBAスクールとして、上海市がEUの協力を得て浦東新区に開校した「中欧国際工商學院 (CEIBS)」の卒業生の来日研修を支援。4月と9月に70-80年代生まれの若手企業家が各50名、20名規模で来日。自動車、都市排水インフラ設備、先端技術を有する会員企業との交流機会を斡旋した。

5．在外事務所活動

(1) 北京事務所

北京事務所は、日中間の經濟各分野における政府機関、經濟界の交流・協力を促進するため、広範に内外諸機関との間で、種々の連絡調整や事業協力などを実施した。第2次五カ年計画の最終年に当たり、その達成状況や成果の分析、さらには2015年10月の五中全会で提案された第3次五カ年計画の方向性の分析に努めた。

改善が進展する日中関係を踏まえ、中国政府関係機関や地方政府の幹部訪日が増加し、招聘状の発信や査証取得についての協力を行った。引き続き省エネ・環境分野での經濟交流や地方交流にも重点を置き、日中省エネ・環境総合フォーラム開催に向けた中国関係機関との調整作業を行い、開催後は既存の課題を基に新たな開催方法や分野について中国側と意見交換を行った。都市化・高齢化対策等の新たな分野での日中經濟協力については、モデル都市など日中協力の具体化に努めた。

更に各省・市・自治区の関係行政機関、大学及び中国企業、外資系企業を訪問・視察するとともに、各種フォーラムや商談会・説明会への参加を通じ、経済状況、投資環境、環境問題等に関する現地調査を行った。また、訪日団の派遣、セミナー・投資説明会の開催、特定問題に関する協議、懇談会等の交流等を通じ情報収集と関係強化を図った。

その他、北京事務所では、中国の中央・地方の政府機関、研究機関、企業等と緊密な関係の維持に努め、各種セミナーやシンポジウム等への参加、ヒアリングや委託調査の手段により、調査・情報収集を行い、その成果は日本の関係機関へレポートとして提出したほか、当協会の『日中経協ジャーナル』やホームページを通じて日中両国政府や会員企業他経済界、学術研究機関等に広く提供した。【別添資料 8】

(2) 上海事務所

上海市を中心とした中国華東地域（江蘇省、浙江省、安徽省）及び山東省、陝西省、湖北省などの周辺エリアの各省・市人民政府や経済開発区などとの交流を通じて情報収集に努めるとともに、各地に進出した会員企業ほか日系企業への情報発信や個別案件へのアドバイス、在中国の日本人・日系企業関係者に向けた講演等を通して、企業対中ビジネス支援を行った。

また、日本の在上海市の各自治体関係者への情報発信や相談に対応したほか、中国側政府機関や企業・各種機関との交流の促進、日中間の経済・文化交流イベント等の支援を行い、多方面から日中間の関係強化に努めた。

更に、当事務所に設置している北海道経済交流室、大分県経済交流室、石川県経済交流室と、それぞれの日本の自治体と協力しながら、様々な情報の収集・発信および中国側の各関係機関とのネットワークの構築、上海に進出した企業・邦人との交流、対中ビジネス支援、観光振興等の幅広い業務を実施した。

これらのほか、在上海市や在北京市の日系企業および関係機関が四川省等の内陸部への進出を検討する際には、当協会成都事務所と連携し、現地視察などのサポートを行ったほか、四川省駐上海事務所と協力して上海地域における内陸地域のPR活動や企業誘致支援などにも積極的に取り組んだ。【別添資料 9】

(3) 成都事務所

中国西部地域において最も古くから活動する海外経済団体事務所の一つとして、成都市をはじめとした四川省各都市や、重慶市など周辺省市の中国側諸機関との連携を深めつつ、我が国の企業・団体等のニーズに対応する情報収集や人的な交流支援などに努めた。

また、成都日本商工クラブの事務局としても活動し、現地日系企業と四川省・成都市を結ぶ役割を果たしつつあるほか、日中双方の関係者の交流プラットフォームとしても機能している。2015年11月には、協会訪中代表団の視察団を受け入れ、成都市にて四川省幹部と交流したほか、徳陽市、綿陽市を訪問し、現地の投資環境の視察や交流活動を展開した。【別添資料 10】

(4) 瀋陽事務所

地元政府各関係部門、団体及び協会本部の支援・指導の下、個々の交流、協力を促進しつつ、「日中経済協力会議 於遼寧」開催準備に努力した。また東北3省1区にあるイベントへ積極的に参加し、特に、東北3省に進出した現地日系企業との交流や情報発信に力を入れた。

【別添資料11】

【別添資料】 主要事業一覧

月日	事業名	頁	種別
【2015年】			
4/15 ~17	第33 回日中経済知識交流会	2	参加
4/17 ~19	中国都市化ハイレベル国際フォーラム	20	参加
4/22	中欧国際工商学院 (CEIBS) 経営管理コース 訪日	7	協力
4/23 ~24	2015 中外知名企業四川行	19	参加
4/24	山東省淄博市臨淄区畢栄青書記一行訪日	15	協力
4/27	魯西化学工業集団株式会社 張雷・副總經理一行訪日	15	協力
5/12 ~15	山東省水ビジネス 企業訪日団	15	受入
5/15 ~20	第9 回中国中部投資貿易博覧会	18	参加
5/26	一般財団法人日中経済協会第15 回理事会		
5/26	一般財団法人日中経済協会第7 回評議員会		
5/26 ~6/2	第16 回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日	7	受入
5/28	唐山・曹妃甸投資説明会	15	協力
6/8 ~12	福建視察団	18	派遣
6/10 ~12	ECOTECH 上海2015	22	出展
6/16	2015 北京日本企業投資説明会	22	協力
7/6 ~10	山東省淄博市劉東軍副市長一行訪日	16	受入
7/10 ~15	「2015 中国「マートシティ国際博覧会」参加及び鄭州訪問等の訪中団	21	派遣
7/14	四川天府新区及び綿陽科技城投資説明会	19	協力
7/14	第1 回工程博士高峰论坛（北京）	20	協力
7/16	2015 年日中経済協力会議 - 於遼寧	5	共催
7/18 ~20	第6 回中国（瀋陽）高齢者・障害者用品展覧会	5	参加
7/29	「中国企業家倶楽部土士学習連盟」日本研修チーム訪日	22	協力
8/25 ~27	新旧会長交代挨拶北京訪問	5	派遣
9/10 ~11	中欧国際工商学院 (CEIBS) 2014 年度生訪日	7	協力
9/15 ~17	唐山・曹妃甸の現地視察会	15	参加
9/25	山東省政府訪日代表団一行との経済交流会	16	主催
10/22 ~23	省エネルギーセンター・人材育成事業第二次専門家派遣（山東省淄博市）	16	参加
10/25 ~29	第1 回日中「マートシティ」研究会開催 関係機関 訪問訪中	21	派遣

11/1 ~8	2015 年度日中経済協会合同訪中代表団	3	派遣
11/18 ~19	中国国際省エネルギー・低炭素創新技術・設備博覧会	23	出展
11/24 ~12/1	第7 回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日	7	受入
11/28 ~12/2	中国城市・小城镇改革発展中心 喬潤令副主任一行	21	受入
11/29	第9 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム	3	共催
12/10	北京市科学技術研究中心 一行訪日	21	受入
12/17	安徽省宿州市政府関係者訪日	19	協力
12/17 ~23	中国マート・グリーンシティ調査訪中	21	派遣
12/18	2015 北京日本企業投資プロジェクト説明会	14	協力
12/21 ~25	中国共産党青年幹部代表団	5	受入
【2016 年】			
1/7	新年賀詞交歓会（日本国際貿易促進協会との共催）		
1/11 ~14	岡本理事長深圳市訪問	18	派遣
1/19	2015 年度関西地区会員懇談会	2	主催
1/27 ~29	「Inter Aqua2016(第 回国際水ソリューション総合展、 ENEX2016(第40 回地球環境とエネルギーの調和展)」	4	出展
2/24 ~27	深圳ス マートシティ・セミナー訪中	21	派遣
2/19	一般財団法人日中経済協会正副会長・常任理事懇談会		
2/25	一般財団法人日中経済協会政策委員会		
2/29 ~3/3	淄博 日中大気汚染対策協力モデル区現地協議	4	派遣
3/17	一般財団法人日中経済協会第18 回理事会・会員懇親パーティ		
3/19 ~21	中国発展高層論壇2016	2	

【別添資料2】 表敬等一覧

- 5 月28 日 唐山市曹妃甸区人民政府梁振江区長
- 6 月18 日 湖北省商務庁胡道銀副庁長
- 6 月30 日 四川博覧事務局劉瑛副局長
- 7 月14 日 四川省投資促進局劉中伯局長
- 7 月31 日 四川省投資促進局 怡挺副局長
- 8 月20 日 日照市人民政府熊波副市長
- 8 月26 日 商務部市場秩序司常曉村司長
- 9 月15 日 温州市人力資源社会保障局徐順聡局長
- 10 月14 日 江蘇省泰州市陸志鵬市長

- 11 月25 日 浙江舟山群島新区海洋産業集聚区管理委員会羅寧副主任
- 11 月27 日 中国国際貿易促進 委員会江蘇省分会黄政副会長
- 12 月15 日 塩城市政府外事辦公室許世剛副主任、
江蘇豊海新能源淡化海水発展有限公司楊總經理
- 12 月25 日 APEC 中国工商理事会蒋利執行秘書長

[2016 年]

- 1 月21 日 山東省商務庁呂偉副庁長
- 2 月18 日 北京市投資促進 局于燕副局長
- 3 月 1 日 商務部宋耀明アジア司商務参事官

【別添資料3】 21 世紀日中関係展望委員会第2 回提言書

「日中関係、より高く、より広く
イノベーション展開とグローバル化の推進を軸に」

はじめに：日中関係の新展開

- 1．中国経済構造改革への期待
- 2．イノベーションへの挑戦 と日中産業協力
- 3．グローバル化への日中協力

おわりに

【別添資料4】 『日中経協ジャーナル』各号特集テーマ

- 4 月号No.255 号2015 年の国有企業改革
- 5 月号No.256 号2015 年全人代分析
- 6 月号No.257 号 省エネ・環境ビジネス 深層分析
- 7 月号No.258 号 中国高齢化対応の最新動向
- 8 月号No.259 号 中国企業の日投資とビジネス・アライアンス
- 9 月号No.260 号 中国スマートシティ構築の現状と展望
- 10 月号No.261 号 日中産業協力の新展開への展望
- 11 月号No.262 号 中国2020 年への経済改革動向 13・5 計画の見直し
- 12 月号No.263 号 アジア・太平洋の地域経済連携とASEAN 統合

[2016 年]

- 1 月号No.264 号 新常態下のイノベーションとグローバル化の協力に向けて
日中経済協会合同訪中代表団抄録
- 2 月号No.265 号 第9 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム
- 3 月号No.266 号2016 年中国の改革深層動向

【別添資料5】 「2015 年日中経済協会合同訪中代表団」の派遣(11 月1 日-8 日)

第41 回目となる今次訪中団は、宗岡 正二会長を団長に、榊原 定征名誉会長（日本経済団体連合会会長）、三村明夫顧問（日本商工会議所会頭）を最高顧問とする合同訪中団として派遣を行い、副団長4 名、会員企業のほか同行記者を含め総勢32 名で過去最大の陣容となった。姜増偉・中国国際貿易促進 委員会会長の受入れの下、李克強・國務院総理との会見、商務部（高虎城部長）、国家發展改革委員会（胡祖才副主任）、工業信息化部（陳肇雄 副部長）との全体会議、更にイノベーションとグローバルビジネス 協力を主題とした日中企業家対 話を行った。また協会、日本経団連、日商の3 団体は中国国際貿易促進 委員会との間で経済交流強化に関する覚書に調印した。

李克強総理からは、日中関係は改善の方向に向かっており、関係改善により両国経済関係の強化に必要な環境を創造、2020 年までの第3 次五カ年計画期間中、「小康社会」実現 のため年平均6.5 %以上の中高速成長を維持、過剰生産能力解消を促進、劣後生産能力を期限 付きで淘汰、経済構造改革の一環として規制緩和、知的財産権保護、公正競争確保などビジネス 環境の整備に努力、日中韓首脳会談で日中韓FTA、RCEP の交渉加速・早期妥結で合意、などのメッセージがあった。

宗岡 会長から李克強総理に「日中経済協会21 世紀日中関係展望 委員会第12 回提言書」を手渡したほか、商務部との全体会議では、会員企業へのアンケート結果を集約した「中国ビジネス 環境に関する改善要望 事項」を提出した。

北京での滞 後、大橋光夫副会長（昭和電工最高顧問）を団長に約40 名が四川省を訪問し、成都にて陳文華副省長と会見、省政府とのハイレベル経済交流会議を開催。また綿陽、徳陽両市を訪問し、徳陽では趙輝市長と会見、東方タービンや第二重型機械公司を訪問、綿陽では劉超市長と会見、九洲電器集団、日普精化（日中合弁）を訪問した。

【別添資料6】 第9 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム（11 月29 日）

日中経済協会は、経済産業省、中国・国家發展改革委員会、商務部、中国駐日本国大使館との共催で、11 月29 日、東京にて「第9 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」を開催した。

日本側からは、榊原 雄 経済産業大臣、丸川珠代環境大臣、高木陽介経済産業副大臣、宗岡 正二会長、中国側からは、張勇国家發展改革委員会副主任、高燕商務部副部長、程永華中国駐日本国大使はじめ、両国政府・企業・団体・専門家等、官民関係者合わせて約50 名（日本側約470 名、中国側約270 名）が参加、26 案件の協力プロジェクトが披露された（第1 回からの累計285 件）。

会場入口にはパネル展示のスペース を設け、15 社（日本側4、中国側11）が終日、省エネ・環境ソリューションのPR を行った。また第9 回フォーラム以降の協力案件の成功事例から5 件を選び、成功要因等を「調印プロジェクトの成果の一例」冊子にまとめて配布した。そして日本企業の技術や設備の初期コストが割高との声は対

しては、導入効果の大きさ、技術・設備の信頼性、性能の長期安定性、管理・メンテナンスのし易さ等、ライフサイクルコストを適正に評価すべきことを宗岡会長より強調した。

午後からは、エネルギー多消費企業の省エネルギー対策、スマートシティ、次世代自動車、循環経済、石炭火力発電、日中長期貿易（水処理・汚泥処理、自動車リサイクル）の6分科会を開催した。

中国側参加者は11月30日～12月2日、分科会毎に日本各地の関係施設・企業を視察。更に張勇副主任一行は、東京都中央防波堤埋立処分場、豊田市（スマートシティ）、京都府（地球温暖化対策）等を訪れ交流したほか、関西経済界との対話や、先導的取組を行っている日本企業の現場視察を行った。

【別添資料7】各省市他との主要交流状況

（ゴシック文字：日中経済協会が覚書を締結している地方）

地域		月日	概要
東北	遼寧	6/16	来日した遼寧省鄒志剛 副省長一行と朝香常任理事、岡本理事長とで面談を行い、遼寧省の経済状況や日中経済協力の概況、また「2015年日中経済協力会議 - 於瀋陽」についての意見交換を行った。
		7/18-21	「第6回中国（瀋陽）高齢者・障害者用品展覧会」が遼寧省瀋陽市で開催され、国内外高齢者・障害者向け最先端製品、高齢者向けサービス、不動産、ヘルスケア、金融、保険など6分野に関する340の国際標準ブースが展示された。当協会がアレンジした展示ブースには、ニチイ学館グループの瀋陽助産国際家政会社をはじめ、泉輝長者介護施設、健康食品を取り扱っている商社など6社が出展。関係者と積極的に交流しビジネスチャンスの拡大を実現した。
沿海部	北京	6/16	北京投資促進局主催の「2015北京日本企業投資説明会」の東京での開催に協力。趙昕昕副局長が北京の優位性と投資有望分野を紹介。朝陽区、東城区、石景山区の区長がそれぞれの投資環境を説明、北京新空港の建設状況についても紹介があった。
		12/18	北京投資促進局との共催で「2015北京日本企業投資プロジェクト説明会」を開催。北京市節能環保中心 陳光明副主任が北京市の新エネルギーと再生可能エネルギーをテーマに講演し、13次五カ年計画の見通しや政策支援、地域協力の状況について説明した。また、順義区、昌平区の区長等がそれぞれの投資環境を紹介した。

沿海部	河北	5/28	唐山市曹妃甸区人民政府・梁振江区長一行8名が来会。梁区長より09年に設立された「中日生態工業園区」について、曹妃甸区は習近平国家主席が指導する「京津冀一体发展战略」の産業集積地であること、完備されたインフラや優遇政策等、園区進出の優位性を強調し、引き続き日系企業進出を歓迎すると発言。また午後には都内ホテルにて「唐山・曹妃甸投資説明会」を開催。後援団体を代表して当協会の生田専務理事が「曹妃甸区が日中双方の企業にとって生産拠点の1つとなることを期待」と挨拶した。
		9/15-17	唐山市人民政府主催の「唐山・曹妃甸の現地視察会」に北京事務所より参加。日本関係者のほか北京市政府及び北京市企業、東南アジア、欧州など総勢200名(うち日本関係者40名余)が参加。北京市や天津市の環境対策として、首都鋼鉄が曹妃甸工業区に移るなど、製鉄所や大規模発電所など重厚長大な産業・企業の河北省への移転が進められてきたが、昨今華北地区全体の大気汚染が深刻化するなど環境問題は依然として解決されておらず、北京市等では設備更新や排出規制など個別に環境対策を行い、徐々に改善の方向に向かっているとはいえ、抜本的な解決にはつながっていないとの説明があった。今後、国家地壇戦略である「京津冀一体化」の推進のなかで、北京、天津、河北が連携して対応する必要があると実感。
	山東	4/24	SINOPEC(中国石化)齊魯石化公司をはじめ、石油化学産業集積地の山東省淄博市臨淄区の畢栄青書記が、同区の環境保護分局局長(齊魯石化環保分局長)や化学企業等5社の企業家を率いて訪日。当協会大気汚染専門家チームとの交流会で、環境対策におけるニーズについて紹介。なお、本交流は当協会が推進する「山東・淄博日中大気汚染対策協力モデル区事業」の一環である。
		4/27	魯西化学工業集団株式有限 公司張雷・副總經理など山東省の企業が日本の固形廃棄物処理を視察に来日。当協会の斡旋で新江東清掃工場や、大川原製作所静岡 工場を視察した。
		5/12-15	山東省環保技術服務中心・李宝林主任を団長に、省内の省エネ型水処理、上下水道、設計・エンジニアリング、設備メーカー等で構成する企業訪日団が日本の技術・ソリューションの導入・共同市場展開を目指し来日。大阪、東京地区で下水処理場、ごみ処理場等を視察したほか、両地でビジネス マッチング交流会を実施した。

沿海部	山東	7/6-10	山東省淄博市・劉東軍副市長をはじめ、同市環境保護局等政府関係者、大気汚染対策を必要としている企業9社が来日。滞在中、日本側専門家チームとの間で、同市の大気汚染改善計画についての協議、企業とのビジネス マッチング、VOC 対策に焦点を絞った企業視察を行った。7月7日、当協会が主催した「淄博市劉東軍副市長一行・企業とのマッチング交流会」(東京)では、VOC 対策、大気モニタリングシステム、環境分析機器などで今後の展開に繋がる交流が窺 した。
		8/20	山東省日照市・熊波副市長(外交部アジア司から出向中)が同市商務局、外事弁公室、開発区及び代表的企業からなる訪日代表団を率いて当会を訪問。日照市は、年取扱量3 億,000 万 トンの港湾と美しい自然 保護区が特徴であり、貿易額は山東省内17 市中第3 位。当協会、日本企業との更なる協力拡大に向けた期待を表明した。
		9/25	山東省 郭 樹清省長が率いる山東省政府訪日代表団一行が、宗網会長以下複数名の幹部と東京で経済交流会を行った。宗網 会長の歓迎挨拶に続き、郭 省長による山東省と日本との経済交流の紹介、程永華駐日本国大使による中国経済状況の紹介が行われた。今次訪日の主目的は、日本経済界との、主として金融、環境、科学技術面における交流協力の強化であり郭 省長は習近平主席訪米に同行し帰路来日した。
		10/22-23	省エネルギーセンターの中国向け人材育成事業第二次専門家派遣が山東省淄博市で実施され、当会は生田専務理事を派遣。これは、山東・淄博日中大気汚染対策協力モデル区事業における日本側専門家チームの協力の一環として、当会が資源エネルギー庁、省エネルギーセンター、国家節能中心、淄博市に働きかけて実現したもの。淄博市側は莊鳴常務副市長(工業・省エネ担当)、劉東軍副市長(環境担当)が開講式・研修活動 に出席。現地では、案件リストの進捗状況と新規提示、案件の課題解決、淄博市関連新規事業に関する第9 回日中省エネルギー・環境総合フォーラムでのMOU 署名等についての協議等を実施した。
		1/21	山東省商務庁・呂偉副庁長一行が来会し、「第18 回中国山東省輸出商品展示商談会」(大阪)等について紹介。15 年山東省の貿易額は前年比12.8% 減。16 年は中国の貿易総額に占める山東省の割合を減少させないことが目標との紹介あり。

沿海部	江蘇	10/14	江蘇省泰州市・陸志鵬市長を団長とする泰州市政府一行1 人が来会、意見 交換を実施。陸市長からは、同市の主導産業（造船、ファインケミカル、バイオケミカル、設備製造、電子情報機器、新エネルギー）や経済成長（1 -9 月のGDP 成長率は10 %増）の概況、第13 次五カ年計画期間における経済成長のための取り組み 3 つの重点： 産業の転換・高度化、 物流産業の発展、生態環境保護の更なる強化）等について紹介があり、関 連分野における日本企業との交流希望 が表明された。
		11/27	中国国際貿易促進 委員会江蘇省分会・黄政副会長一行6 名が「2016 中国（崑山）ブランド産品輸入交易会」に関するプロモートを目的に来会。崑山は、蘇州市に属する全国でも経済的実力トップクラス の県級市で、現 在、510 社の日系企業が進 出。表敬では本交易会、特に「環境保護展示エリア」への出展についての招請があった。
		12/15	塩城市政府外事辦公室・許世剛副主任、同市の主要産業の一つである海水淡水化を担うモデル企業 = 江蘇豊海新能源淡化海水発展有限 公司楊総経理他が来会。高濃度塩 水の処理や活用方法、環境への影響低減について日本との交流を希望 。会員企業や日本脱塩 協会が参加して意見 交換を行った。
	浙江	9/15	温州市人力資源社会保障局・徐順聡局長一行が来会。徐局長より、経済危機後転換政策（国際化、自然 環境保護、情報化、アパレルのグレードアップ、都市化など 5 化」戦略）を実施したこと、日本との交流強化を期待している旨、発言あり。生田専務からは、起業家精神に富んだ温州市からの対 日投資に期待と発言。
		11/25	浙江舟山群島新区海洋産業集聚区管 理委員会・羅寧副主任一行5 名が当協会を訪問。舟山市は港の建設や海洋関 連産業を中心に、群島部と大陸との架け橋の地理的特性を活用しつつ国家最大の国際貿易基 地、海洋 マートシティ建設構想を推進 中。滞在中に「浙江省舟山群島新区（東京）投資セミナー」を開催

沿海部	福建	6/8-12	岡本理事長を団長に会員等1社7名による福建視察団を派遣。福建は上海に続き自由貿易試験区に指定され、また台湾とのECFA締結等を契機に、更なる兩岸の貿易・投資が拡大中。本団では、蘇樹林省長、鄭曉松副省長、楊益民福州市長、裴金佳廈門市長等とそれぞれ会見。自由貿易試験区の中核エリア（福州、平潭、廈門）の現地を視察。中国各地が高成長を競うなか、福建省の相対的な発展の遅れを取り戻すべく、急速な成長を遂げていることを実感。
	広東	1/11-14	岡本理事長らは深圳市で市政府ほか民営企業大手の華為技術股份有限公司、BYD 汽車、坪山新区等を訪問、また広州で广汽トヨタ汽車有限公司他を訪問し、深圳の起業環境、企業の歩み、市場戦略などについて理解を深めた。
中部	湖北	5/15-20	生田専務理事はじめ会員企業等関係者により湖北省(襄陽、武漢)を訪問。また第9回中国中部投資貿易博覧会に協会として参加出展。襄陽市では、王忠運・襄陽市副市長や張学林・襄陽市招商局長らと会見、今後協力関係を強化していくことで合意し、襄陽市ハイテク産業開発区や民営企業を視察。また単独会見した甘栄坤副省長は、今後「長江経済ベルト」「一帯一路」の発展戦略に基づき、中部6省は中国経済の「第四の成長極」として発展をはかる中で、日本との経済関係強化に期待すると述べた。
		6/18	湖北省商務庁・胡道銀副庁長一行6名が来会。胡副庁長より、中部博覧会の成功と協会参加への謝意表明、また更なる経済関係強化と、新たなビジネスモデル構築の必要性を強調。更に今後は農業、流通分野でも日本の経験やノウハウを取り入れたいとの意向を示した。
		9/8-12	湖北省水利庁代表団が来日。霞ヶ浦、琵琶湖、桂川の水質環境保護対策を視察したほか、日中経済協会関係者と水問題交流会を開催。また、埼玉県にある首都圏外郭放水路を訪問。日本の都市洪水対策、治水経験に高い関心を示した。「千湖の省」湖北省との間で引き続き水環境保全、汚染対策、生態修復、洪水対策等多方面の交流につなげていくこととなった。

中部	安徽	12/17	安徽省北部の宿州市から都市建設、公園整備、公衆衛生関係の政府関係者が来日。協会幹旋により府中市都市整備部(公園緑地課)による同市の都市環境整備について説明を受け、郷土の森公園を視察。宿州では今後更に交流強化を希望し、府中市も前向きな対応を約束した。
西部	四川	4/23-24	四川省政府が成都で開催した「2015 中外知名企業四川行」に参加。四川省外の中国国内企業と海外企業の誘致を合わせて所管する省投資促進局が主催し、魏宏省長、王寧副省長が内外の主要来訪者と会見。一帯一路戦略への四川省の対応など、中央・南アジアや欧州を意識した説明を展開。ドイツNW州首相等欧州からの参加が目立った。
		6/30	四川博覧事務局・劉瑛副局長を団長とする一行6名が来会。目的は「中国西部(四川)輸入展・国際投資大会」、「第3回四川農業博覧会・成都国際都市現代農業博覧会」への広報。当協会は、同局が例年成都で開催する「中国西部国際博覧会(次回は2016年開催)」を中心に、これまで相互に往来と交流を実施してきた。
		7/6	四川省成都市公安局・王平江常務副局長一行4名が来日。警察庁交通管理局において日本の交通規制、交通安全対策の法理、基本思想と理念、及び実際のインフラ、ソフト面での実施等について講義を受け、また警視庁交通管制センターでは、日々変化する都内と関東地区広域の交通状況管制の状況を視察。同行した財政局幹部、交通管理局幹部は日本の過去の渋滞・公害問題の克服の歩みとともに、東京都で行われている交通管制システムに高い関心を示し、今後の継続的な交流を希望した。
		7/14	四川省投資促進局・劉中伯局長を団長とする一行17名が来日、四川省の一帯一路融合戦略と、「四川天府新区」及び「綿陽科技城」の最新動向を紹介する「四川天府新区及び綿陽科技城投資説明会」を開催。それぞれの概況戦略内容・重点分野・優遇対策等を具体的にPRした。日本側は協力、後援を含め、関心企業・団体など40名以上が出席。

西部	四川	7/31	四川省投資促進局・萬怡挺副局長一行3名が、9月開催の「中国自動車産業サミット」並びに10月開催の「中国西部（四川）輸入展・国際投資大会」、「第3回四川農業博覧会」の広報と参加招請のため来会。生田専務理事より、同省は「一帯一路」国家戦略の重要拠点であると同時に、本年度の合同訪中団の地方視察先でもあることから当協会も非常に重視しており、今後更に交流が深まることを期待すると発言した。
分野		月日	概要
大気		1/27-29	東京ビッグサイトで開催された「Inter Aqua2016（第7回国際水ソリューション総合展）」「ENEX2016（第40回地球環境とエネルギーの調和展）」に出展。中国の水市場と省エネ市場の最新動向の資料を配布。日中省エネルギー・環境総合フォーラム、日中大気汚染対策総合モデル区（山東省淄博市）、日中スマートシティ・新型都市化協力など、日中省エネ・環境協力に関するパネルを展示した。
水		7/14	清華大学からの依頼を受け、「第1回工程博士高峰論壇」（北京）のメインテーマの一つである地下式下水処理場建設の専門家である日本大学環境工学部・森田弘昭教授（前国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究官）による講演を斡旋。中国で関心が高まっている地下式下水処理場について、日本の状況を講演した。
新型都市化		4/17-19	中国都市化ハイレベル国際フォーラム（国家発展改革委員会中国都市・小城镇改革発展中心・世界経済フォーラム・世界銀行・経済協力開発機構・国連開発計画の共同主催）に北京事務所から出席。今次テーマ「イノベーションと実践（創新と実践）」の下、パネルディスカッションでは長江経済ベルトや一帯一路など中国国内から世界に向けた発展戦略と新型都市化との関連性や位置付けについて議論した。

新型 都市化	7/10-12	中国のスマートシティ等新型都市化に向けた官民の日中交流を更に活性化し、日中スマートシティ・ビジネスモデルプロジェクトの醸成に繋げるという共通の目的に向け、中国都市化センターと当協会は、「中国スマートシティ国際博覧会」の機会を活用し「日中スマートシティ分科会」及び「日本の関連技術・システムプレゼンテーション」を開催。また国際館では、三井不動産、日建設計、海外エコシティプロジェクト協議会と当協会による「柏の葉スマートシティ」をテーマとした展示を実施した。
	10/25-29	中国のスマートシティ建設に関する政策・制度および関連企業の動向等を把握するため、国家発展改革委員会城市・小城镇改革发展中心の協力のもと、訪中調査を実施。27日には北京で専門家、実務家による「日中スマートシティ研究会」を開催した。
	11/28-12/2	国家発展改革委員会城市・小城镇改革发展中心副主任等スマートシティ専門家グループの来日を招聘し、深圳光明新区鳳凰城スマートシティ・ソリューション検討ワークショップを開催したほか、横浜市の「みなとみらい21プロジェクト」、柏の葉スマートシティ、大阪駅周辺のTODに係る視察・交流を実施した。
	12/10	北京市科学技術研究中心一行5人が当協会の受け入れで来日。千葉県柏の葉のスマートシティを視察。北京市所属の同中心は、5,000人以上の職員と30カ所の研究所を持ち、多分野における実用化に直結する技術や製品を研究・開発。団長の韓傑同中心弁公室主任は、特に産官学一体の進め方や総合的な省エネシステムの構築が良い参考になったと述べた。
	12/17-23	中国が推進しているスマート・グリーンシティを中心とする新型都市化の先行的な取組み事例につき、各プロジェクトの特徴や課題を把握し、今後のビジネスモデルの分析・提言につなげるため、広東省佛山市（中独協力モデル都市）、寧波市、深圳市で開発企業等と交流、インタビューなどを実施した。
	2/24-27	国家発展改革委員会城市・小城镇改革发展中心の紹介により、深圳市益田集団股份有限公司が深圳市坪山新区でスマート化開発を計画している「益田共和城邦」のモデルプロジェクト形成検討に向け、日中双方の関係者の参加によるセミナーを現地で共催すると共にスマートシティ開発をテーマに現地で開催された内外企業及び専門家等の協力による「論壇」に参加した。

その他	4/22	EU の協力で上海に設立されたMBA スクール、中欧国際工商学院 (CEIBS) の経営管理コースに所属する社会人学生・教授一行60名が研修で来日。早稲田大学での研修のほか、首都圏を中心に見学・視察。22日に当会幹旋で日産自動車追浜工場を訪問、EVほか生産ラインを見学、新エネルギー自動車や環境戦略について聴講した。
	4/23	外務省、経済産業省との協議を行うことを目的に来日した商務部高燕副部長一行と正副会長による懇談会を実施。高燕副部長からは「新常态下での中国经济と中日経済貿易協力」と題した基調報告が行われた。協会側からは、対中投資とビジネス環境改善に関連した独禁法の事業者結合や外商投資企業の許認可、新常态下での経済交流推進に向けての問題意識や今後の展望を共有することの必要性が述べられた後、意見交換が行われた。
	6/10-12	上海の国家展覧中心にて開催された「ECOTECH CHINA 2015」に出展。同展示会は、中国の固形廃棄物処理処置・大気汚染対策産業における新政策に焦点を当て、固形廃棄物処理・大気汚染処理・汚泥処理及び資源リサイクルの設備・技術をメインに開催。当協会は日本企業8社と共にパネル展示を実施し、日中省エネルギー・環境ビジネス推進事業のPRや企業のマッチングサポートを実施した。
	6/16	北京市投資促進局・趙昕昕副局長を団長とする一行を訪日招聘し、新宿で開催された標記説明会に協力。当日は50名の定員満員で盛況。当日は趙副局長より北京独自の投資優位性や歓迎誘致分野など総括的な基調講演。さらに東城区、朝陽区、石景山区の各責任者より投資環境や重点を概説。また、北京新航城控股有限公司より着工した北京第2空港関連ビジネスや投資機会を紹介した。
	7/29	中国を代表する民間企業の集まりである「中国企業家倶楽部」の有志企業9社により構成される「土土学習連盟」の日本研修チーム27名が来日し、当協会と中国企業家倶楽部の主催により、日本企業との対一商談会を開催。訪日団メンバーは、自動車、電気・電子、IT、ソフトウェア、メディア、教育、文化、農業、食品、エネルギー、環境、不動産等の業界最先端の企業で構成され、日本側企業・団体44社91名とビジネス機会の拡大を目指して活発な商談を実施した。

その他	8/26	商務部市場秩序司常曉村司長一行が来会。日本の商務信用の状況を紹介し、中国の消費拡大のため消費金融会社の設立緩和や電子商取引の状況について説明を受け、意見交換を行った
	9/10-11	4月に引き続き、中欧国際工商学院 (CEIBS) の2014年度生18名が研修で来日。当協会の協力で、日之出水道機器&Uセンターと東レ本社を視察し、マンホールに関するリスク対応技術の必要性、日本のトップ企業の持続的な向上等の紹介を受けた。
	11/18-19	中国・国家節能中心が主催する「中国国際省エネルギー・低炭素創新技術・設備博覧会」へ、関連企業社と共にパネル出展。当博覧会のテーマは「グリーン生産、グリーン生活」。欧米、アジアほか世界36の国と地域が出展(300社以上)。最新省エネ・低炭素技術設備・製品・サービス分野における各国のトップ企業が技術部品からシステムソリューションの成功事例までを展示。18日「省エネルギー生態文明建設メインフォーラム」にも出席した。

【別添資料8】北京事務所

経済・貿易関係

< 当協会の各種事業関連の下、以下諸活動に参加 >

- ・中国石油網セミナー〔石油エネルギー技術交流室：北京〕(4月9-10日)
- ・大中物産杯日本語弁論大会〔北京〕(4月11日)
- ・AIIBに関するラウンドテーブル〔北京〕(4月15日)
- ・中国都市高層国際フォーラム〔上海〕(4月17-19日)
- ・中国企業家倶楽部年次総会〔瀋陽〕(4月20-22日)
- ・第9回中国河南国際投資貿易商談会〔鄭州〕(4月20-23日)
- ・上海国際モーターショー〔電力室：上海〕(4月21-22日)
- ・国際原子力工業展覧会〔電力室：北京〕(4月22-24日)
- ・国際交流協会セミナー〔北京〕(4月24日)
- ・中国電力発展フォーラム〔電力室：北京〕(4月28-29日)
- ・Facts Global Energy セミナー〔石油エネルギー技術交流室：北京〕(4月30日)
- ・WTF2015〔札幌経済交流室：北京〕(5月7-10日)
- ・工信部電信情報研究院日中地域開発研究訪日団〔東京近郊〕(5月9-10日)
- ・第9回東アジアビジネスフォーラム〔杭州〕(5月12-14日)
- ・投資環境調査説明会〔札幌経済交流室：アモイ〕(5月12-14日)
- ・中青旅メディアツアー〔札幌経済交流室：北京〕(5月12-16日)
- ・上海風力展覧会〔電力室：上海〕(5月13-15日)
- ・原子力技術交流会〔電力室：日本〕(5月13-26日)
- ・第9回中部投資貿易博覧会〔武漢〕(5月18-20日)

- ・日本商会企画委視察団〔成都〕(5月18-20日)
- ・関西電力国際部長訪中〔電力室：北京〕(5月20-21日)
- ・富士電機淄博ビジネス交流会〔淄博〕(5月21-23日)
- ・札幌市観光文化局長訪中〔札幌経済交流室：北京〕(5月22日)
- ・シルクロード博覧会〔西安〕(5月22-26日)
- ・日中観光の夕べ〔北京〕(5月23日)
- ・国際ビックデータ博覧会〔貴陽〕(5月26-29日)
- ・第16回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日(5月26-6月2日)
- ・吉林財経大学講演会〔長春〕(5月28日)
- ・天津循環産業フォーラム〔天津〕(5月28日)
- ・エネルギー・トレッジサミット〔電力室：北京、張家口〕(6月3-5日)
- ・中日企業联谊会〔上海〕(6月6日)
- ・福建省経済考察団〔廈門、福州他〕(6月8-12日)
- ・JOGMEC オイルガス講演会〔石油エネルギー技術交流室：北京〕(6月10日)
- ・南アジア博覧会〔電力室：昆明〕(6月10-13日)
- ・北京投資促進局訪日団〔東京、北海道〕(6月12-17日)
- ・黒龍江・日本ビジネス交流会〔北京〕(6月16日)
- ・原子力関連施設視察〔電力室：大亜湾、秦山〕(6月23-26日)
- ・生態文明国際フォーラム〔貴陽〕(6月26-28日)
- ・BITE2015〔札幌経済交流室：北京〕(6月26-28日)
- ・日中経済協力会議準備会合〔瀋陽〕(6月29日)
- ・蘭州投資貿易商談会〔蘭州〕(7月6-8日)
- ・北洋銀行上海事務所開設10周年記念行事〔札幌経済交流室：上海〕(7月7日)
- ・中国国際都市化博覧会〔北京〕(7月10-12日)
- ・日中マートシティ協力事業調査〔鄭州〕(7月12-13日)
- ・日中経済協力会議〔瀋陽〕(7月14-17日)
- ・日本商会黒竜江省視察団〔ハルビン、大慶〕(7月17-19日)
- ・日中地域間交流推進セミナー〔西寧〕(7月29-31日)
- ・日本商会工業第1分会吉林省視察団〔長春他〕(7月30-8月1日)
- ・帝京大・工信部電信情報研共同研究現地調査〔長沙、武漢〕(7月28-31日)
- ・国際農業食品博覧会〔長春〕(8月14-23日)
- ・アーク石油セミナー〔石油エネルギー技術交流室：北京〕(8月26日)
- ・日本商会工業第3分会視察団〔蘭州、ウルムチ〕(8月27-30日)
- ・北東アジア投資貿易博覧会〔長春〕(8月31-9月2日)
- ・日本商会事業委員会視察団〔長春、延辺〕(8月31-9月3日)
- ・北京延慶県視察調査〔北京〕(9月12日)
- ・唐山・曹妃甸地視察会〔唐山、曹妃甸〕(9月15-17日)

- ・関西電力・湯川常務訪中〔電力室：西安、太原、北京〕(9月15-19日)
- ・中国国際石油 化工大会〔石油 エネルギー技術交流室：上海〕(9月16-18日)
- ・WTC F〔札幌 経済交流室：モロッコ〕(9月20-22日)
- ・日照市視察団〔日照〕(9月21-22日)
- ・中日韓産業博覧会〔濰坊〕(9月23-24日)
- ・JOGMEC 講演会〔北京〕(9月24日)
- ・窮遊フェア〔札幌 経済交流室：北京〕(9月26-27日)
- ・「走近日企」事業記念交流会〔北京〕(9月28日)
- ・中口博覧会 中国ハルビン国際経済貿易商談会〔ハルビン〕(10月1-15日)
- ・EP 中国〔電力室：上海〕(10月14-16日)
- ・日中韓石油 技術会議〔石油 エネルギー技術交流室：北京〕(10月20-23日)
- ・北洋銀行大連事務所10周年記念行事〔札幌 経済交流室：大連〕(10月20日)
- ・北海道辻副知事来会〔北京〕(10月21日)
- ・北海道ビジネス セミナー〔北京〕(10月22日)
- ・日中又 マートシティ勉強会〔北京〕(10月27日)
- ・北海道 キープromotion〔札幌 経済交流室：北京〕(10月31日)
- ・第41回日中経済協会合同訪中代表団〔北京、四川〕(11月1-8日)
- ・JOGMEC 講演会〔北京〕(11月6日)
- ・JTB 発展ビルテナントオープン式典〔札幌 経済交流室：北京〕(11月6日)
- ・イオン北海道フェアセレモニー豊台店〔札幌 経済交流室：北京〕(11月7日)
- ・瀋陽札幌 姉妹都市35周年記念行事〔札幌 経済交流室：大連、瀋陽〕(11月9-13日)
- ・ス マートグリッド展〔電力室：上海〕(11月1-13日)
- ・中日韓青年友好交流会〔北京〕(11月12-13日)
- ・環境問題セミナー〔石油 エネルギー技術交流室：北京〕(11月13日)
- ・NEDO 成果報告会〔北京〕(11月14日)
- ・商務部セミナー〔石油 エネルギー技術交流室：上海〕(11月1日-19日)
- ・中国国際節能(省エネ)博覧会〔北京〕(11月18-20日)
- ・工法研究会〔電力室：天津〕(11月19-20日)
- ・第7回中国大学生「走近日企・感受日本」訪日(11月24-12月1日)
- ・日本商会調査委員会視察団〔電力室：広西チワン族自治区〕(11月25-27日)
- ・静岡県大須賀副知事来会〔北京〕(11月26日)
- ・第9回日中省エネ環境総合フォーラム〔東京〕(11月28-12月2日)
- ・天津市投資説明会〔天津〕(12月8日)
- ・中国社会科学院シンポジウム〔北京〕(12月13日)
- ・北京投資促進 局訪日団〔日本〕(12月15-22日)
- ・北京弁公会20周年記念セミナー〔北京〕(12月17日)
- ・北九州市環境局山西省訪問団〔太原〕(12月17-19日)

- ・電気事業競争情報報告会〔電力室：北京〕(12月17-18日)
- ・宋志平董事長講演会〔北京〕(12月18日)
- ・中独 マートシティ博覧会〔仏山〕(12月18-19日)
- ・中国社会科学院シンポジウム〔北京〕(12月19日)
- ・日中スマートシティ調査視察〔深圳〕(12月19-23日)
- ・中聯部青年幹部訪日団〔東京、新潟、和歌山〕(12月21-25日)
- ・ス マートシティ香河視察調査〔香河〕(1月12日)
- ・鹿児島県佐々木副知事来会〔北京〕(1月21日)
- ・都道府県ネットワーク会議〔北京〕(1月23日)
- ・日本商会訪ミャンマー視察団〔電力室：ヤンゴン〕(1月23-26日)
- ・黒竜江観光投資環境視察団〔ハルビン、亜布力〕(1月27-29日)
- ・JICA 環境セミナー〔電力室：北京〕(1月27日)
- ・中日友好新春音楽会〔札幌 経済交流室：済南〕(2月1日)
- ・日中スマートシティ調査〔深圳〕(2月24-27日)
- ・貴州省ビッグデータ博覧会〔北京〕(3月1-2日)
- ・華東輸出入商品交易会〔上海〕(3月3-4日)
- ・厦門大学講演会〔電力室・石油 エネルギー技術交流室：アモイ〕(3月16-18日)
- ・上海包装機械観 法懇話会〔上海〕(3月17日)
- ・China Development Forum〔北京〕(3月19-21日)
- ・中国 マートシティ国際創新大会〔済南〕(3月24-25日)
- ・国際石油 石化技術装備展覧会〔石油 エネルギー技術交流室：北京〕(3月29日)
- ・再生エネルギー会議〔電力室：北京〕(3月29-30日)

<関係諸団体・組織・研究機関・大学への事業協力>

日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本貿易振興機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構、海外電力調査会、石油 エネルギー技術センター、日中投資促進機構、日中東北開発協会、JICA、中国日本商会、帝京大学、岩手県立大学、国際教養大学等の訪中、調査等の事業への協力。

<地方自治体、団体等への事業協力>

札幌市、北海道、横浜市、静岡県、新潟県、長野県、北九州市、鹿児島県等の訪中、調査・宣伝等の活動への協力。

<中国(関係諸機関)への事業協力>

国家发展改革委員会、商務部、工業信息化部、外交部、国家税務総局、環境保護部、中国社会科学院、国務院発展研究中心、中国共産党中央対外聯絡部、中国国際貿易促進委員会、中国企業聯合会、中華全国工商連合会、国家電力監督管理委員会、

中国日本友好協会、国家發展改革委員会マクロ経済研究院・都市改革發展中心・能源研究所・国際合作中心、工業信息化部電信情報研究院、北京市節能環保中心、北京市投資促進局、中国中煤能源集團有限公司、中国海洋石油總公司、北京外交人員服務局、中国都市科学研究会、各地方政府等。

< 日中長期貿易協議委員会 連事業 >

第 次日中長期貿易取り決め延長交渉、日中省エネルギー・環境総合フォーラム T 分科会の開催等に協力した。

調査・情報収集

- ・中国マクロ政策経済調査
- ・日中経済動向調査 (対 中直接投資、貿易、経済交流、日系企業動向等)
- ・省エネルギー、環境保護に関する現状や政策動向
- ・中国における新たな産業分野として、IoT、電子商取引引きについて動向を分析
- ・都市化、高齢化対策等社会福祉制度充実化に向けた動向分析。特に都市化については日中双マートシティ協力についてモデル都市の具体化に注力
- ・中国の中央・地方各政府関連機関の人事情報
- ・日系企業経営環境動向調査報告書
- ・経済、金融、証券、エネルギー等の分野での主な統計、ニュース、産業動向等に関する中国経済貿易、投資のトレンド調査
- ・経済、金融、証券関連の法律条例等の中国制度情報調査
- ・東部沿海部・東北3省・内陸・中部地域における地域振興政策の現状と展望 (本年度は特に東北地域を現地調査)
- ・中国の対外開放政策について初歩的に調査開始 (AIB、一帯一路等)
- ・中国における労働問題・外国人社会保険加入問題等についての協力
- ・中国における税金問題、駐在者及び出張者に係るビザ問題について調査対応
- ・この他、中国日本商会、日本人会、日本人学校における運営・活動への参画並びに日本大使館、経済諸団体、研究機関、日系企業等との交流を通じ情報収集を行い、これらの情報については適宜 会員への伝達に努めた。

【別添資料9】 上海事務所

華東地域各行政機関・開発区等との交流

上海市をはじめとする華東地域の各行政機関や開発区等が開いた投資説明会、商談会等各種イベントに参加したほか、それら機関の当事務所訪問への対応等を通して、積極的に交流を深めつつ、新たな地域政策や現地の実情など多方面にわたる情報収集に努めた。このほか中国側各行政機関や開発区が行う投資説明会やビジネス マッチングに関して、アドバイスや日本の関係機関との連絡調整を進め、日本企業に対する関

連情報の提供や参加案内を行った。現 地発行の媒体等を通して、法律・通達などの制度情報の紹介、コラムの掲載などにも取り組んだ。

<当協会の各種事業関連等、以下の諸活動に参加>

- ・2015 年上海日中友好成人式（後援）（4 月4 日）
- ・MICE 専門誌 本市“IT&CM China ” 出展（4 月15 ~16 日）
- ・長野県人会・長野ビジネス フォーラム講演（4 月17 日）
- ・沖縄県アンテナショップ開業式（4 月20 日）
- ・湖北省孝感市訪問（4 月21 日）
- ・上海日本商工クラブ資源化学品部会総会（4 月22 日）
- ・中国（上海）国際技術輸出入交易会（上海交易会）出展（4 月23 ~25 日）
- ・上海世界旅游博覧会（WTF ）出展（5 月7 ~10 日）
- ・南京日本商工クラブとの意見 交換会（5 月12 日）
- ・外国政府機構事務所登記問題に関する関係者会議開催（5 月13 日）
- ・第9 回中国中部博覧会出席・出展（5 月18 ~20 日）
- ・上海日本商工クラブ食品農水部会総会講演（5 月19 日）
- ・日中民間経済交流フォーラム講演（5 月23 日）
- ・中国国家旅游局主催中日地方創生観光シンポジウム（5 月23 日）
- ・上海紫竹ハイテクパーク開業式（5 月26 日）
- ・江蘇省南通市南通江海国際交流合作展開幕式（5 月28 日）
- ・中信旅游九州観光イベント（蘇州市）（5 月29 日~30 日）
- ・一般財団法人製品安全協会5 周年記念行事（6 月2 日）
- ・日本中華総商会上海聯誼会1 周年記念式典（6 月3 日）
- ・浙江省義烏輸入博覧会及び義烏国際商貿城視察（6 月4 日）
- ・上海中日企業交流会（6 月6 日）
- ・茨城県セミナー「上海子育て講演会」（後援）（6 月7 日）
- ・上海アメリカ商会100 周年記念式典（6 月9 日）
- ・エコテック上海出展（6 月8 ~12 日）
- ・「初音ミク」コンサート記者発表会（6 月11 日）
- ・上海新世界大丸百貨説明会（6 月12 日）
- ・第10 回中華全国日本語スピーチコンテスト審査員（6 月12 ~13 日）
- ・上海国際映画祭「日本映画週間」開幕セレモニー（6 月14 日）
- ・上海市外国投資促進センター中国食品輸入通関セミナー（6 月17 日）
- ・浙江省寧波海商文化国際論壇基調講演（6 月18 日）
- ・上海シテイスイーパーでの大分県物産販促イベント（6 月19 日~21 日）
- ・上海ブラスバンド第19 回定期演奏会（後援）（6 月21 日）
- ・安徽省政府と日系企業との懇談会（6 月25 日）

- ・石川県人会 中国ビジネス 研究会・懇親会開催 (6 月26 日)
- ・上海日中地域交流会講演 (6 月30 日)
- ・久光百貨「北海道フェア」観光相談ブース 設置 (6 月30 日)
- ・森・濱田・松本法律事務所 上海事務所設立10 周年記念式典 (7 月3 日)
- ・北洋銀行上海事務所設立10 周年記念行事 (7 月7 日)
- ・上海市外商投資連席会議セミナー・視察会参加 (7 月8 日)
- ・神戸市ポートセールス 「神戸市の集い」(7 月8 日)
- ・全国日本人交流会 (7 月10 日)
- ・大分県業務食材商談会および販促イベント (北京市)(7 月15 日~18 日)
- ・日経BP ・中智人力資源公司セミナー (後援)(7 月17 日)
- ・上海高島屋における浴衣フェスタ (後援)(7 月18 日)
- ・ユーグレナ上海有限 公司開業式 (7 月22 日)
- ・第1 回ビジットジャパン・サロン (後援) 出展 (7 月25 ~26 日)
- ・自治体国際化協会主催日中地域間交流推進 セミナー (7 月29 ~31 日)
- ・江蘇省南通市服務上海自由 貿易区投資セミナー (7 月30 日)
- ・上海ギフトショー (後援) 開幕式 (8 月5 日)
- ・朝日学園第4 回学園祭観光インバウンドブース 出展 (8 月5 日)
- ・香港FOODEXPO 出展 (8 月13 ~15 日)
- ・北海道ドリームクイズ上海地区オーディション開催協力 (8 月22 日)
- ・大金 (中国) 投資有限 公司主催「ダイキン納涼祭」(8 月23 日)
- ・中智人力資源 (中国) 有限 公司人力資源フォーラム講演 (9 月11 日)
- ・CITIE2015 (中国 広東 国際旅游産業博覧会) 出展 (9 月11 ~13 日)
- ・上海包装機械工業会現地法人懇話会第1 回会議開催 (9 月15 日)
- ・浙江省商務庁主催外国関係機関 交流会 (9 月17 日)
- ・上海アピタ九州物産展出展 (9 月24 ~27 日)
- ・亜細亜太平洋協力会会議 (9 月28 日)
- ・第7 回日中韓地方政府交流会議 (義烏市)(10 月12 ~15 日)
- ・ビジネス フォーラム視察団との懇談会 (10 月15 日)
- ・九州旅行PR イベント (10 月15 日~16 日)
- ・江蘇省対 外友好協会懇談会 (10 月16 日)
- ・北洋銀行大連駐在員事務所開設10 周年記念式典 (10 月20 日)
- ・北海道ビジネス セミナー (北京) 開催 (10 月22 日)
- ・上海理工大学 山东大学上海事務所開所式 (10 月29 日)
- ・上海広域連携商談会上海プロモーション (11 月2 日)
- ・大阪府と上海市の友好提携35 周年記念事業 (11 月4 日)
- ・北海道議会訪中団との交流 (11 月13 日)
- ・南京ジャパンウィーク観光ブース 出展 (11 月14 ~15 日)

- ・中華総商会上海聯誼会勉強会開催 (11 月19 日)
- ・石川県伝統的工芸品商談会開催 (11 月24 日)
- ・大分県台湾プロモーション (11 月24 日-28 日)
- ・ぐるなび上海10 周年祝賀会 (11 月25 日)
- ・石川県機械・電機製造企業商談会開催 (11 月26 日)
- ・華為上海技術センター視察会 (12 月1 日)
- ・在上海日本国総領事館天皇誕生レセプション出席・ブース 出展 (12 月3 日)
- ・経済同友会訪中団との懇談会 (12 月4 日)
- ・上海女性企業家セミナー開催 (12 月4 日)
- ・福岡 県人会総会講演 (12 月5 日)
- ・第2 回ビジットジャパン・サロン (後援) 出展 (12 月5 -6 日)
- ・浙江省政府商務謝恩会 (12 月10 日)
- ・上海市奉賢 区政府説明会 (12 月11 日)
- ・石川・富山・長野 3 県合同観光セミナー商談会開催 (12 月11 日)
- ・上海日本商工クラブ資源化学品部会総会 (12 月12 日)
- ・上海ブラス バンド第20 回記念演奏会 (後援) (12 月20 日)
- ・旅行雑誌「行楽」主催読者会での九州PR イベント (12 月21 日-23 日)
- ・上海市貿促会主催外国投資機構等新年会 (1 月12 日)
- ・安徽省安慶市政府座談会 (1 月15 日)
- ・JAIC セミナー講演 (1 月19 日)
- ・SIPP 上海外国投資機構連席会議総会 (1 月20 日)
- ・上海日本商工クラブ2016 年度総会賀詞交歓会 (1 月26 日)
- ・静岡県清水港ポートセールス セミナー (1 月28 日)
- ・上海市商務委員会との懇談会 (2 月2 日)
- ・包装機械工業会現地懇話会第2 回会議開催 (2 月3 日)
- ・地方自治体・銀行等の合同新年会開催 (2 月19 日)
- ・江蘇省常州市政府主催新春会 (2 月25 日)
- ・上海留日同学会総会 (2 月28 日)
- ・浙江省寧波市政府新春招待酒会 (3 月1 日)
- ・福岡 県セミナー (共催) 開催・講演 (3 月2 日)
- ・上海留日同学会植樹祭 (3 月5 日)
- ・江蘇省南通市開発区訪問 (3 月8 日)
- ・マカオホテルオークラでの「大分県食の旅フェア」(3 月11 日)
- ・2016 年中智日本企業倶楽部新春賀詞交歓会 (3 月16 日)
- ・包装機械工業会現地法人懇話会第3 回会合開催 (3 月17 日)
- ・上海新世紀大丸百貨石川県伝統的工芸品フェア開催 (3 月19 -20 日)
- ・日中地域交流会講演 (3 月24 日)

情報サービス提供、相談業務

華東地域に所在する会員企業及び関連する現地法人をはじめとした日系企業の相談、情報交換、問い合わせへの対応などに努めた。また、上海日本商工クラブや、在上海の各県人会など日系企業の集まる研究会の場で、中国に関する政治経済情報などをテーマとした講演を行ったほか、当協会機関誌や現地の情報誌等への寄稿を通じて広く情報発信を行った。

他方、日本の関係各機関や企業等の華東地域への出張や調査実施等に際しては、レクチャーや意見交換、情報提供などを行うとともに、中国関係機関の紹介や現地トラブル対応などの各種の便宜供与を行った。

<日本関係機関>

(政府関係機関・団体等) 経済産業省、農林水産省、日本政府観光局、在中国日本国大使館、在上海日本国総領事館、経済同友会、日本貿易振興機構、日本政策金融公庫、日本商工会議所、日中経済貿易センター、海外職業訓練協会、日中投資促進機構、商工組合中央金庫、中国日本商会、上海日本商工クラブ、青島日本人会 他

(自治体) 福岡県、大分県、長崎県、沖縄県、大阪府、福井県、長野県、石川県、岐阜県、静岡県、茨城県、福島県、北海道、福岡市、北九州市、大阪市、神戸市、横浜市、川崎市、札幌市 他

上海包装機械現法懇話会

同懇話会は、日本包装機械工業会からの要請により、同工業会会員企業で主に華東地域に進出している現地法人をメンバーとして平成18年5月に設立されたもの。平成27年度は、3回の懇話会を開催し、現地法人経営に従事するメンバーに対して、企業活動に資する定期的な勉強会と交流の場を提供した。

北海道経済交流室、大分県経済交流室、石川県経済交流室

北海道、大分県、石川県と中国との間の経済交流を推進するため、各経済交流室を設置している。地元企業の進出支援、物産の販路拡大、来日観光客の誘致などを目的に、各経済交流室では以下の通り諸事業を実施した。

<企業支援、輸出促進等>

1) 北海道経済交流室

北海道産品の販路拡大支援として、上海市内のデパートや高級スーパーにおける北海道物産展(4、11月)や、中国全土(11月)の系列日系大手スーパーにおける北海道物産展等の開催支援、日系食品商社の国際食品展示会(上海、5月)への出展支援を実施したほか、北海道産の農水産品のプロモーション(北京市、平成28年

月)に協力した。

2) 大分県経済交流室

輸出促進では、上海市と北京市のショッピングセンターで開催された各種の試食販売イベントで県産品の販促を支援した。また、香港00DEXPO(8月)、大分県台湾プロモーション(11月)、マカオホテルオークラ「大分県食の旅フェア」(3月)に参加し県産品をPRし、11月には香港の高級日本料理店と連携し2週間の大分フェアを開催した。

このほか、上海、武漢、天津、広州、香港、マカオ、台湾の商社を個別訪問し、輸出を希望する県内メーカーの商品について商談を行った。

3) 石川県経済交流室

石川県産品の販路開拓支援として、11月に、県内中国進出企業8社の参画を得て中国現地ローカルバイヤーや日系企業を集めた石川県中国機械・電機企業商談会を上海市内で開催した。食品については、上海の食品商社を日本に招へいし、石川県庁において県内食品企業との商談会を実施した。また、上海に加えて香港においても「FOOD EXPO2015」に県内企業6社の参画を得て出展した。その他、香港の食品商社を日本に招へいし、石川県庁において県内食品企業との商談会の実施や、香港のデパートや高級食品スーパーにおける石川県産食品フェアの開催支援を行ったほか、日系貿易商社と連携し、県内企業1社とともに同行営業セールス(平成28年3月)を行い、石川県産食品の販路開拓に努めた。伝統工芸品分野では、日系貿易商社と連携し3回にわたり、広州市及び上海市内の生活用品販売店等との商談会・同行営業セールスを開催した(11月、平成28年3月)。

<観光客誘致>

1) 北海道経済交流室

観光客等の誘致として、上海市(4、5月)、北京市(5月)、武漢市(5月)、広州市(9月)、ハルビン市(10月)において開催された旅行博覧会等に出展したほか、市町村が上海市(平成28年1月)内の百貨店や日本料理店において実施した観光プロモーションを支援した。また、道内企業(6月、鉄道会社)が現地旅行会社とともに上海で開催した北海道観光イベント等の開催に協力して北海道観光PRを実施した。

2) 大分県経済交流室

観光客誘致については、中部投資貿易博覧会(武漢)(5月)、大分県台湾プロモーション(11月)で大分県の観光PRを行った。また、上海駐在の九州自治体事務所と連携し、中信旅游主催九州観光PRイベント(蘇州、5月)、ビジットジャパンサロン(上海、7月、12月)、環球金融中心での九州旅行PRイベント(上海、10月)、天皇

誕生日レセプションでの九州旅行PR（上海、12月）旅行雑誌「行楽」主催イベントでの九州旅行PR（上海、12月）に参加し、九州全体の観光PRを行った。

このほか、九州旅行を積極的に企画・実施している上海市内の旅行会社を個別訪問し、会議旅行や社員旅行の誘致などを行った。

3) 石川県経済交流室

天皇誕生日レセプション(12月上海)といった領事館主催イベントに参加したほか、Visit JAPAN Salon (7月)に中部圏の自治体合同で出展、上海の旅行会社と協力して北陸県のPRをするなど、様々な機会を捉えて観光PRを行い、本県への誘客促進に努めた。

<その他>

1) 北海道経済交流室

微博(ミニブログ)動画投稿サイト、ホームページを開設して、北海道の観光と食の魅力等の情報を随時発信した。

2) 大分県経済交流室

大分県が人事交流を行っている湖北省を県国際政策課と訪問し今後の交流事業等について意見交換を行った。また、中国大陸以外に、当室が所管する香港、マカオ、台湾において、副知事が参加した台湾プロモーション(11月)、マカオホテルオークラ「大分県食の旅フェア」及び香港企業訪問(3月)、商工労働部長が参加した香港・マカオ商社訪問(1月)のアテンドを行った。

3) 石川県経済交流室

中国石川県人会(登録会員数:183名)の事務局を務め、3回の勉強会・懇親会を開催するなど会員相互の交流促進を図った。このほか、11月には、石川県商工労働部次長の江蘇省表敬訪問、江蘇省商務庁幹部参画による県内進出企業視察等を行い、30年来の友好交流地域である江蘇省と石川県との経済交流支援強化に努めた。

その他

世界最大の在外経済組織である上海日本商工クラブ(会員数2,419企業等、2015年未現在)の活動に関して、上海事務所長が常任顧問を務め、各部会での講演などを通じ情報提供したのをはじめ、各種活動に積極的に参加した。

【別添資料10】 成都事務所

西部地域各行政機関等との交流

四川省や成都市をはじめとした西部地域の各行政機関や、各地の開発区が開催した

様々な行事への参加、各関係機関の当事務所への訪問対応などを通して、新政策や各種の情報収集に努めた。また、西部博覧会への参加など、四川省をはじめとする各行政機関が開催する事業に積極的に参画し、日中間の相互理解の促進に努めた。

< 以下諸活動に参加 >

- ・ 成都日本商工クラブ役員会 (4 月9 日)
- ・ 成都日本商工クラブ2014 年度総会・懇親会 (4 月15 日)
- ・ 成都温江バラ園オープンセレモニー (4 月19 日)
- ・ 四川省政府「中外知名企業の四川行」イベント (4 月24 日)
- ・ 四川省政府「四川省投資説明会」(4 月24 日)
- ・ 「一帯一路」西安・泉州投資説明会 (5 月20 日~22 日)
- ・ 成都日本商工クラブ役員会 (7 月2 日)
- ・ 全国日本人交流会 出席 (7 月10 日)
- ・ 成都中国青年旅行社海洋量子号稼働式 (8 月12 日)
- ・ 西南民族大学イ族学院日本語作文大賞表彰式 (9 月16 日)
- ・ 綿陽市第三回科技博覧会 (9 月19 日-20 日)
- ・ JNTO 旅行社懇親会 (9 月21 日)
- ・ 四川省対外友好協会自貢市視察 (9 月22 日-23 日)
- ・ 四川省政府国慶節招待宴会 (9 月29 日)
- ・ 旭硝子加工貿易有限公司成都事務所開業式 (10 月21 日)
- ・ 成都市投資環境説明会及びプロジェクト調印式 (10 月22 日)
- ・ 中国国際輸入展開幕式・四川省投資説明会 (10 月23 日)
- ・ 成都日本商工クラブ役員会 (11 月3 日)
- ・ 日中経済協会合同訪中代表団地方視察 (11 月6 日-7 日)
- ・ 第三回四川農業合作発展大会 (11 月19 日)
- ・ 第三回ジャパンプランド(後援)開幕式 (11 月20 日)
- ・ 四川省政府駐蓉貿易代表処座談会 (12 月2 日)
- ・ 伊藤洋華堂広島物産展 (12 月4 日)
- ・ 重慶日本総領事館天皇誕生レセプション (12 月11 日)
- ・ 貴安新区経済発展局投資環境説明会 (12 月16 日)
- ・ 成都日本商工クラブ忘年会 (12 月16 日)
- ・ 成都日本商工クラブ役員会 (1 月14 日)
- ・ 四川省投資促進局主催懇談会 (1 月18 日)
- ・ 自貢市国際恐竜灯会発表会 (1 月18 日)
- ・ 四川省商務庁主催懇談会 (1 月19 日)
- ・ 四川博覧事務局主催懇談会 (1 月20 日)
- ・ 四川省国際投資促進会主催会議 (1 月22 日)

- ・2016年四川涉外機構交流活動(1月25日)
- ・成都市投資促進委員会座談会(1月28日)
- ・成都市外事弁公室主催懇談会(2月3日)
- ・四川省対外友好協会「友好之春・走進大英」イベント参加(2月21日)
- ・成都-チェコ直行便開通セレモニー(2月24日)
- ・成都日本商工クラブ役員会(2月25日)
- ・JETRO成都進出企業支援セミナー(3月4日)
- ・東亜KK・重慶川儀自動化股份有限公司調印式(3月14日)

日系企業等への情報提供、応談業務

西部地域に所在する日系出企業等からの相談応、情報提供等を行ったほか、日系企業の関心事項に関して、四川省政府等行政機関への問い合わせなどを行った。日本や中国各都市から四川省などを訪問する各機関や企業、研究者に対し、現地情報のブリーフィング、意見交換、情報提供等のほか、四川省や成都市、重慶市等の政府機関への訪問アポイント、随行などの各種便宜供を行った。

<日本関係機関等>

成都日本商工クラブ、在重慶日本国総領事館、広島県、甲府市 他

四川省との交流への取り組み

日常的に四川省政府をはじめとした各地方政府との情報交換や連携に取り組んだが、2015年は特に11月5-8日にかけて、大橋光夫副会長を団長とした当協会合同訪中代表団・四川視察団(一行43名)を受け入れ、政府幹部との交流や視察などを実施した。成都市では「日本-四川経済貿易ハイレベル経済交流会議」の開催、陳文華副省長との会談及び夕食会を行い、四川省の経済状況を把握するとともに日本経済界からの要望などを踏まえた意見交換を行った。視察団は徳陽市、綿陽市へも訪問し、現地政府幹部との会談をはじめ、東方汽輪有限公司、中国第二重型機械集団公司等当該地を代表する企業への視察等も行った。

成都日本商工クラブへの支援

成都日本商工クラブの事務局として、また成都事務所長が同商工クラブの顧問として、現地日系企業・在留邦人の交流に関わる活動を支援した。会員証の発行支援を行ったほか、総会(4月)、納涼会(8月)、忘年会(12月)の開催を支援した。また8月に北京市で開催された、中国各地の日本商会など在外邦人代表が集う日本人交流会に、成都代表として参加した。

更に四川省人民政府や成都市人民政府から提供される情報を、適同クラブメンバーに発信したほか、在重慶日本国総領事館からの情報通知、連絡業務への支援につい

ても日常的に実施しているところである。

その他

2015 年度より日本政府観光局 (JNTO) の成都連絡 所としての業務を行っている。四川省や重慶市をはじめとした中国内陸部からの訪日観光客の増加に資するため、政府関係機関 や現 地旅行会社との連携や情報収集に努めるほか、内陸部の観光客のニーズや課題の把握、日中双方の旅行社や航空会社などとの交流を進 めている。

また、成都ジャパンプランド (11 月開催) などのイベントにおいて、訪日観光PR を目的としたJNTO ブース の出展などに協力している。

【別添資料 1 1】 瀋陽事務所

経済交流

主として東北4 省区の現 地産 出日系企業との交流、賛助会員への情報発信を強化したほか、日中それぞれが主催する各種イベントに積極的に参加し、多面的な交流を行い、東北4 省区との交流を深めた。

- ・2015 年中国 瀋陽 国際金融サミット 参加5 月6 日
- ・「 在瀋陽日本地方自治体交流プラットフォーム5 周年記念大会 参加5 月30 日
- ・「2015 年日中経済協力会議 - 於遼寧 主催、参加7 月16 日 -17 日
- ・第3 回綏芬河国際通関 貿易博覧会 開幕式及び関 連行事参加8 月8 日
- ・第1 回日中韓地方政府協力会議 参加8 月30 日
- ・第10 回北東アジア博覧会開幕式及びフォーラム 参加9 月1 日
- ・商協会協力円卓フォーラム 参加9 月1 日
- ・北東アジア工商協力フォーラム開幕式 参加9 月1 日
- ・黒龍江省 - 韓国経済貿易協力マッチング商談会 参加10 月13 日
- ・黒龍江省 - 日本経済貿易協力商談会及び友好県道交流会 参加10 月14 日
- ・鞍山市経済 現 地企業見 学交流会主催10 月20 日
- ・「 第1 回協会合同訪中団関 連行事参加11 月2 日 -7 日
- ・瀋陽市と札幌 市友好姉妹都市締結35 周年記念招待会 参加11 月1 日
- ・「 在瀋陽日本国総領事館主催天皇誕生日レセプション 参加12 月10 日
- ・大連ジェットロ主催瀋陽対 日本投資説明会参加12 月16 日
- ・盤錦市現 地経済関 連情報収集、開発区視察主催1 月15 日 -16 日
- ・在瀋陽日本国総領事館主催レセプション参加1 月18 日

情報収集・実情調査

日中経協ジャーナル『チャイナ・トレンド・チェック』へ以下を執筆したほか、本部から発信されるメール情報に向けて関 連情報・資料の収集に努めた。

- ・ 新東北振興支援政策の実施を巡って6 月号

- ・「東北地区経済低迷状態の要因と動向について」(2016年2月号)

進出日系企業支援

瀋陽を中心として、中国東北4省区における進出日系企業、各地方自治体中国現地事務所等に対して、実務に関連した具体的なアドバイスを提供するとともに、必要に応じて適宜中国側との調整、アレンジ等を行った。

現地政府及び現地関連機関への協力

瀋陽市政府機関、経済団体、研究機関及び進出日系企業、在瀋陽日本国総領事館等との交流を通じ、現地ネットワークの構築・強化を図るとともに、各地経済関連のイベントや説明会、更には東北4省区の産業経済区・日本工業園区及び現地第3次産業への企業誘致に協力した。